## 大学からのお知らせ

## 横浜市と大規模災害時における 災害廃棄物の仮置き場の設置協力に関する協定を締結

平成28年6月16日に横浜市長公舎において、横 浜市と大規模災害時における仮置き場の設置協力に 関する協定を締結いたしました。

横浜市からの災害廃棄物の仮置き場設置協力の要請を受け、大規模災害発生後の復旧・復興を迅速に進めるためには、災害廃棄物を一時的に保管する仮置き場の確保の必要性に鑑み、協定締結に至りました。協定の主な内容は以下のとおりです。

- 大規模災害発生時に、グラウンド(フットボール場)を仮置き場とすることの可否を横浜市と協議する。
- 仮置き場の設置期間は原則として、大規模災害 のあった日から1年間とする。

- •保管する災害廃棄物は、土壌汚染を引き起こさないコンクリートくずとする。
- 仮置き場の使用開始にあたっては、横浜市が地域住民に説明するとともに、試用期間中は、大気質、水質などの環境モニタリングを行い、情報を公開する。
- 使用後は、グラウンドを原状復旧してから返還する。

なお、本学のほか、市内の横浜市立大学、横浜商 科大学も同協定を横浜市と締結しました。

横浜国立大学は、今後も地域社会へ貢献する取り 組みを通じ、大学の教育、研究機能の向上を図るよ う努めて参ります。



林市長(左)と長谷部学長(右)

## 横浜国立大学は、「横浜国立大学古本募金」をはじめます!

横浜国立大学古本募金は、皆様からご提供いただいた書籍・DVD等の買取金額を横浜国立大学に寄附する取り組みです。寄附金は教育・研究活動や学生支援等に役立てられます。

皆様からのご支援をお待ちしております。

※「横浜国立大学古本募金」とは、お金で募金するのではなく、「古本」を活用することで、横浜国立大学の教育・研究を支援するプロジェクトです。古本募金についての詳細はHPをご覧ください。

(http://www.ynu.ac.jp/about/kikin/furuhon.html)

## YNUミュージアム来館者数が5.000人を突破しました!

YNUミュージアムは7月20日、開館以来の来館者の累計が5,000人を突破しました。記念すべき5,000人目の来館者は、福岡県からお越しの製菓製パン窯メーカーキュウーハン株式会社社長小川啓司様です。本学渋川祥子名誉教授とお仕事を通して交流があり、7月末までの特別展の渋川祥子展を見学にいらっしゃいました。5,000人目をお伝えすると快く応じて下さり、池田館長から記念品が贈呈されました。その後はスタッフも交え館内の展示を見ながらの歓談となりました。

YNU ミュージアムは、現在は横浜国立大学届出団体「Robo+ism」のロボットを展示中です。これ

からも学内外の皆様のお越しをお待ちしています。



記念品を贈呈する池田館長(左)と小川啓二様(右)